



わが家のアイドル

宇土金にお住まいの
星 達朗さん・由香さんの

長女 **菜月**ちゃん(2歳10か月)

こんにちは! なつきです。
わたしは歌って踊ることが大好き!
ほかにもおままごとやおえかきも大好き。
これからもっと
たくさんお友達をつくって遊びたいな。

みなさんのお宅のアイドルの写真を募集しております。市役所総務課へどしどしお寄せください。



下田市はあいさつ運動実践中

あいさつで、心のとびらを開けていく



下田人の 息づかい

Vol. 6

下田の人たちが昔から大切に
してきたもの。

そして、

これから新たに大切にしてい
きたいものが

「下田まち遺産」です。



吉田松陰寓奇処

蓮台寺温泉と渡米への想い

吉田松陰は松下村塾において、高杉晋作、伊藤博文、山縣有朋など、明治維新に大きく貢献した人物達を育てた人物として有名です。

日本の兵学遅れを感じた吉田松陰は西洋兵学を学ぶため、九州や東北、江戸に遊学し、ついには外国へ渡ること
を決意します。

米国艦に乗り込もうとして

横浜に行き、最終的に下田まで向うこととなりました。

1854年3月、金子重輔とともに下田に到着した松陰は下田に宿をとり、密航の機会をうかがっていました。滞在中、皮膚病を患っていた松陰は治療のため蓮台寺温泉に行き、医師である村山行馬郎と出会い、村山邸に3泊しています。

この村山邸が現在の「吉田松陰寓奇処」です。茅葺屋根の外観は当時の情景を偲ばせ、吉田松陰が入浴したとされる風呂も残っています。

幕末当時、夜間の外出は禁止されていたので、吉田松陰は下田の宿には蓮台寺に泊ると言い、逆に蓮台寺には下田



に泊ると言いつて夜の間に米国艦を監視し続けます。

そして3月27日に柿崎弁天島より漁船で米国艦に向います。最初にたどり着いた艦では乗船を拒否され、次に旗艦ポーハタン号へたどり着き、米国への渡航を願ひ出ます。

しかし、必死の説得もむなし、渡航は断られ柿崎へ送り返された吉田松陰は自首し、郷里萩へ送り返されます。

この下田での出来事は、松陰の人生の転機となり、やがて萩で教育者として塾生を育て、彼らは日本の未来を大きく変える要因となりました。

吉田松陰は湯船にっかりながらどのような思いでいたのでしょうか。

若き吉田松陰の熱い心を今に伝えるまち遺産です。

問合せ先 建設課都市住宅係

☎ 22219



「広報しもだ」は再生紙を使用しています

伊豆縦貫自動車道を早期完成しよう!!

「伊豆縦貫自動車道ロゴマーク」を利用して、伊豆縦貫自動車道の整備促進と活性化を県内外にPRしましょう!! ご利用方法については、以下の市ホームページをご覧ください。

■ 下田市ホームページ <http://www.city.shimoda.shizuoka.jp/>



いいずらいず

伊豆縦貫自動車道早期完成